

令和 8 年度 普及指導センターの主な活動を紹介します

巻農業普及指導センターでは、当地域の農業が将来に希望の持てる魅力ある産業へと発展し、担い手を中心とした持続的な農業構造を実現するために、以下に掲げる3項目を重点課題に設定して取り組みます。

重点課題 1

◎力強い農業構造の確立と持続可能な農業・農村の仕組みづくり

農業分野では、農業者の急激な減少や高齢化が進行する中、農地の受け皿や地域農業の活動主体となる経営体の育成や連携体制の構築等が重要となります。

このため、ほ場整備への取組を契機に法人設立に向けた話し合いが進んでいる川崎地区を対象に、地区営農プランの策定や営農体制確立に向けた話し合いを支援します。

また、旧西川町地域を中心に、農地流動化や営農継続に向けた担い手間の連携体制の構築を支援します。



【耕作者アンケート結果をもとに話し合い】

重点課題 2

◎収益性の高い魅力ある農業経営体の育成



【社員参加型で経営理念と求める人材について検討】

若者から農業を就職として選択してもらえるような魅力ある農業経営体の育成に向け、地域の中心となる担い手である水稻+園芸（えだまめ他）の複合経営を展開する農業法人を指導対象に選定し、今後の大幅な規模拡大に対応できるよう、主要部門における生産性向上に繋がる技術革新を支援します。

また、代表者の才覚のみに依存しない経営体制の構築に向け、法人の理念・ビジョンに基づく経営戦略の策定と、その実現に向けた人材育成の取組等を支援します。

重点課題 3

◎農業人材の確保・育成に向けた地域の受入体制づくり

園芸産地における継続的な新規就農者の確保・育成に向け、関係機関・団体と連携した産地の受入体制構築に向けた取り組み等を支援します。

具体的には、すいか、ねぎ、かんしょ、かき産地を対象に、産地が求める人材の把握や新規就農者の育成・定着をサポートする新たな里親農家の確保等の取組を支援します。



【新規就農者等交流会】

一般活動のご紹介

作物

「県産穀物の安定生産・供給」

近年の温暖化や異常気象に対応した技術情報の提供や、作期分散に向けた取組支援等、高品質・良食味米生産の取組を支援します。

具体的には、「①水稻主要品種の目標収量、1等米確保」「②水稻新品種の周知、作付拡大」「③水稻乾田直播栽培の普及、作付拡大」「④大豆・麦の高収量確保」の4課題について、重点的に活動を展開していきます。

園芸

「持続的に発展する園芸産地の育成」

新潟県園芸振興基本戦略に基づき策定した「大玉すいか・抑制メロン」「小玉すいか」「かんしょ」「えだまめ」「たまねぎ」「いちじく」に係る園芸産地発展ビジョンの実践に向け、関係機関と連携した生産団地の整備や先進技術の導入などによる産地の構造改革、異常気象に対応した安定生産技術の導入、産地を牽引する経営体の育成や新たな担い手の確保を支援します。

畜産

「畜産物を安定生産する持続可能な経営の育成」

畜産経営を取り巻く環境は高齢化や輸入飼料価格の高止まり、夏季の暑熱による生産性の低下など厳しい状況が続いています。

このため、畜産経営の安定化に向け、飼料費の低減や飼料コントラクター組織との連携による地域内での安定的な粗飼料生産体制の構築を支援します。

また、関係機関と連携し、畜舎への直射日光の浸入を防ぐ窓の遮光や換気ファンの角度調整等の暑熱対策の取組を支援します。

担い手・経営支援グループ



近藤(野菜) 小湊(花き) 窪田(野菜) 遠田(畜産)
齋藤(普及課長) 遠山(所長) 奥山(企画専門員)

地域農業推進グループ



佐藤職員 澤田(作物) 高橋(野菜) 塚本(果樹)
中村(野菜) 小泉(作物) 小野(作物)

～お世話になりました～

参事・普及課長	石田 依公子	村上農林振興部へ	課長代理	萩野 孝司	農業大学校へ
主任普及指導員	吉川 貴子	農産園芸課へ	技師	浅見 昇汰	上越農林振興部へ
臨時的任用職員	葛西 正則	退職			